

# つがる市は私が輝ける場所

## 新規参入 就農3年目



齋藤 香織さん (つがる市)

### 就農のきっかけ

私は農業高校出身で、学生の頃農業は好きでしたが、生業にしたいというところまで考えはありませんでした。しかし、子どもが生まれて安心出来る食材を食べさせたいという想いが募り、夫の理解と協力を得て就農しました。

#### ○就農にあたっての課題

農地の確保が最初の苦労です。苦心する中、つがる市の広報に「農地を探しています」と掲載してもらい、なんとか農地を確保することが出来ました。つがる市の広報に掲載してもらえなければ農地の確保もままならなかったと思います。就農するにあたり、自己資金を準備した上で、融資と補助金を併用し、農業を始めました。

#### ○活用した就農支援策等

- ・農業次世代人材投資資金 (準備型と開始型)
- ・就農準備支援金：準備期間中1回限り (つがる市単独事業)
- ・研修支援金：2年間 (つがる市単独事業)

**農地を探しています**

齋藤香織さんは、就農に必要な農地を探しています。希望する条件は、次のとおりです。

- ・イオンモールつがる柏付近から、車で約30分の範囲内
- ・トマト栽培に適した水はけのいい土地

貸してもいい・譲ってもいいという方、情報を持っている方は、下記までご連絡をよろしくお願いします。

【つがる市 広報誌 抜粋】  
つがる市 広報に、齋藤さんが探している農地条件が掲載。  
※行政機関のサポート体制により農地確保が可能となりました。



【齋藤さんが育てたミニトマト】  
就農3年目のミニトマト。  
JAにコンテナでバラ出荷しています。  
撮影日2021.09.27

### 自己紹介

- 氏名・・・齋藤 香織さん (33歳)
- 出身地・・・青森県五所川原市
- 経営の概要・・・個人経営 従事者2名
  - ・経営面積・・・借受農地50a ハウス2棟 (1棟：100坪)
- ・作付け品目・・・大玉トマト、ミニトマト、ホウレンソウ (冬季限定)
- ・販売先・・・主にJA出荷、一部、つがる市農産物直売所

### 就農してからの課題や想い

#### ○取り組み

つがる市に移住し「新規就農者支援事業」の研修生第1号として修了し、夏季は大玉トマト、ミニトマト、冬季はホウレンソウを栽培しています。

#### ○就農してからの課題

2年間の研修を経て、自ら栽培を始めてみると「これってなんだろう？」という場面が何度もあり、実際に研修で教えてもらっていても習得しきれていない部分が多々あると感じました。

最初の頃は大玉トマトの収穫時期がよく分かりませんでした。「ちょっとお尻が赤くなったくらいで収穫してください。」と言われても、まだトマトは青いし、本当に収穫して良いのかという迷いがありました。そうこうしているうちに絶好の収穫時期を逸してしまうなど、タイミングを覚えることに苦労しました。

#### ○課題の解決方法

就農初年はトマトに青虫が発生し、収量が減ってしまいました。そこで2年目は防虫ネットを導入し、なんとかうまく栽培することができました。困った時は研修先の指導員や農協の担当者の方に電話をして教えてもらっています。

今後はハウスを2棟から3棟に増やし、地域の方や障がい者・高齢の方々の雇用をしたいと考えています。また、将来、子ども達を対象に収穫体験などが出来たら良いと考えています。今は栽培に集中していますが、今後、トマトの加工品にもチャレンジしてみたいです。

### 就農を考えている方へのメッセージ

初年度に「つがる市就農研修生受入協議会」の色々な作物を作っている生産者の所へ行って話を聞いたことで人とのつながりを持ってました。困ったときに相談できる方がいることが、一番の安心材料だと思っています。人とのつながりを大事にして欲しいです。